●複眼

知事選

し進める日本政府、全国の自治体の姿勢を示した箇所だ。

沖縄さんは自ら望んでいないけんかに巻き込まれ、満身創痍で山登りを始めた。「金のために」と、弾薬や虫よけ剤、襲われる可能性があるのか、効果があるのかも分からない熊やイノシシ、ハブ対策などの道具もたくさん持たされている。重い荷物を持たされたまま、標高690㍍（戦後69年）までなんとか登ってきた沖縄さん。この先、2千㍍（2000年）もの道のりも同じ苦しみを一人で背負わなければならないのか。[illegible]任せにしている無関心に直接、窮状を訴える手はないか。

沖縄さんの未来を占う11月16日投開票の知事選まで1カ月を切った。埋め立て工事に向けた作業が現地で進められる中、県民の意思を示すことになる大事な選挙。有権者に「投票せねば」と思わせる紙面作りに努めたい。

（政経部）

〝沖縄さん〟の未来はいかに

石川　亮太

たとえ話が胸にストンと落ちた。小学校のクラスで山登り遠足があり、担任の先生を先頭にクラスメートたちが身軽に山を登る。最後尾から歩くのは体の小さい〝沖縄さん〟だ。沖縄さんはクラスメートの荷物を山ほどかかえ、見るからに苦しそう。全身でずっしりと重さを感じ、周りの自然や景色、おしゃべりを楽しむ余裕はない。

沖縄さんが「みんなで分けあって持ちませんか」と先生やクラスメートにお願いするのは反抗だろうか。「お金をあげるから我慢して」「栄養剤を与えるから頑張って」「利き腕の右肩が重いなら、場所を左側に変えて持って」と諭すのが先生の役目なのだろうか。持ちたくないから見て見ぬふりをするのが友情なのだろうか。

国土のわずか0・6%の面積に米軍専用施設の約74%が集中する沖縄の現状と、米軍普天間飛行場の返還問題で名護市辺野古への新基地建設を推